

## 〈建設キャリアアップシステム登録推進・窓口開設情報 ⑨〉

2018年12月5日

本部建設キャリアアップシステム担当発

### 1) 大手企業交渉(10月25・26日)での発言

[大和ハウス] 事業者登録4700社弱をすすめている。下請けから対応策をきかされている。

[竹中工務店] 下請けに事業所登録をお願いしている。会社としての補助は考えていない。

[東亜建設工業] 補助の予定はない。

[鴻池組] まだ登録していない。いずれやらざるを得ない。

[大林組] 会社としてバーカードリーダーを買って、現場に配置したい。事業者登録を進めてほしい。賃金単価上昇につなげていきたい、との話があり、組合として推進を要望した。

[清水建設] 10月で900社中、6割が登録した。

[長谷工エコープレーション] 対応が遅れておる、来年2月から現場運用をはじめ。

[戸田建設] 顔認証システムをCCUSにプラスして、勤退管理をしていく。1月から現場運用を開始する。

[三井住友建設] 交渉当日に企業側からシステムの説明学習を求められ、資料を作成して説明し企業側の質問に答え、推進を求めた。

### 2) 建設キャリアアップシステムの申請受付の状況

建設業振興基金によると、11月27日現在の登録申請受付数は、技能者情報登録受付数:約8800件、事業者情報登録受付数:約7400件です。

取り組み状況では、

①送申請は5月から技能者登録・事業者登録申請受付を開始

②インターネット申請は6月13日から技能者登録・事業者登録申請受付を開始しました。

また、8月1日から事業者が技能者の登録代行を申請する場合の技能者情報を所定フォーマット(Excel)機能をリリース。さらに登録した技能者情報及び事業者情報の変更申請の受付を10月12日開始しました。

③受付窓口・認定登録機関では、

i) 県建設業協会(受付窓口)は12月3日現在、計37箇所開設、他協会は開設準備中。

ii) 全建総連支部(受付窓口・認定登録機関)は12月3日現在、29箇所開設、他の組合でも開設準備中、開設済みの箇所で、「認定登録機関」は埼玉土建本部・支部(8箇所)、首都圏ユニオン本部(1箇所)、千葉土建部・支部(18箇所)。「受付窓口」は全建愛知本部・支部(2箇所)です。

④「事業者加入社会保険等証明書類見本一覧」が、振興基金HPにおいて11月2日に情報提供を開始していますが、運用する中でさらに適切な内容に改善するとしています。

### 3) 建設業振興基金が「本運用」むけて「現場登録」説明会を開催

振興基金は、4月から11月末までに建設業団体及び企業の要請等による説明会を約240回開催。さらに来年2月～3月に説明会(本運用直前セミナー)を、全国の9ブロックで10回開催予定。東京では2月20日(水)と3月4日(月)に星陵会館で開催されます。参加要領は12月1日の中執で提案、振興基金のキャリアアップシステムHPでも公表されています。

(以上)